

うきは市立大石小学校 学校だより

# 「校宝の松」



「玄  
関に  
ある  
校  
宝  
の  
松」

令和8年1月29日

発行者 校長 古賀 光成

## 次へのステップとしての3学期に

3学期が始まって3週間経ちました。子供たちは、新学期を迎え、新たなめあてを決めて、それを達成するためにはどんな行動をすればよいかを意識して毎日の生活を送っています。学校全体では、大石マナーの定着に力を入れています。1日1マナーを意識して行動できるよう、放送委員会が呼び掛けたり、下校時に振り返ったりしています。

今週になってインフルエンザの感染が広がり、5年生が学級閉鎖になりました。学校では、「手洗い・うがい」をこまめにすること、状況に応じてマスクをすること、教室を定期的に換気することに留意しています。ご家庭でも、十分な睡眠やバランスのとれた食事などの感染症予防をお願いします。

- 大石マナー
- 自分から進んであいさつをします
  - 時間いっぱい もくもく掃除をします
  - 言葉づかいに気をつけます
  - 廊下は静かに右側を歩きます
  - くつ、上ぐつ、スリッパをそろえます
  - ものを大切にして整理整頓します
  - 服装を整えます

明日30日(金)は、持久走記録会です。子供たちは、これまで自分の目標に向かってしっかり練習してきました。今年は、保健体育委員会の企画で昼休みの自主練習も行っています。本番でも、精一杯の走りをすると思いますので、応援をよろしくをお願いします。持久走は努力したことがすぐに結果につながるというよさがあります。子供たちには、他の人との比較になる順位の上下ではなく、「昨日の自分の記録を超える」ことを意識するように話しています。ご家庭でも努力の過程とお子様の伸びをほめていただくと、より意欲的にチャレンジできるようになると思います。8日のうきは市民ロードレース大会にも昨年より多くの児童が申し込んでいます。他校の児童と一緒に競技をすることで多くのことを学べると思います。午前中の駅伝大会には、大石小職員チームが参加します。共に力を合わせてがんばりましょう！

## 地震避難訓練 ～命をまもる行動ができるように～

14日(水)に地震避難訓練を行いました。今回は、緊急地震速報が出たり、揺れを感じたりしたときにどう動けばよいのかを自分で考えて行動できるようになることを目的としました。先生の指示がなくても机の下に入るなどして頭部を守ること、学校の校舎は耐震性が高いので反射的に運動場に避難しなくてもよいこと、繰り返しの揺れに備えることなどを学習しました。また、6年生は訓練の企画にかかわり、避難するときに割れたガラスが散らばっていることを想定して、ガラスの破片に見立てたペットボトルキャップを廊下にばらまいたり、水を入れるだけでご飯ができるアルファ米の調理・配膳をしたりしました。過去の災害時の避難所で、小中学生が活躍したというニュースがありましたが、大石小学校の児童が防災学習を通して実践力を身に付けていくことを期待しています。

人の力で災害の発生をゼロにするのは不可能だからこそ、被害を最小限に抑えるための備え(訓練)を大切にしたいと思います。家にいるときに災害が発生したらどう行動するかを、各家庭で話題にしていただけるとありがたいです。右のQRコードから、子供たちが活用している副読本「命をまもる!!ガイドブック」がご覧になれます。



ペットボトルのキャップ踏まないように避難



アルファ米のご飯を配膳



3年生はブックカバーで頭を守っています

